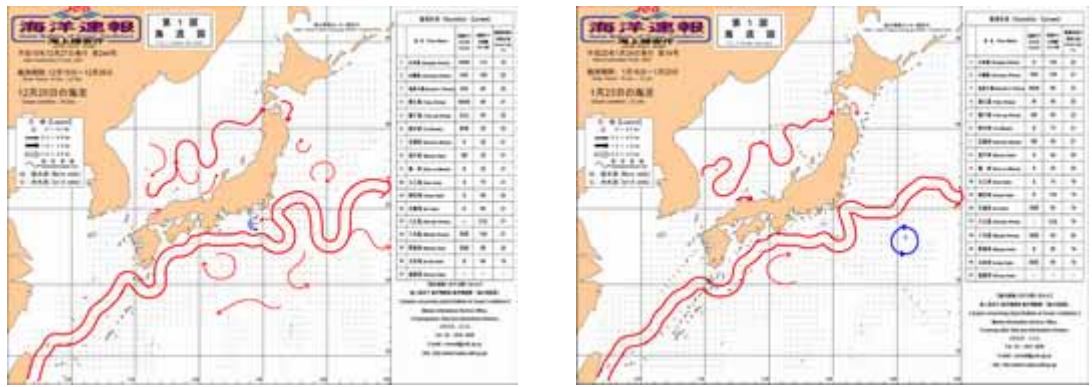
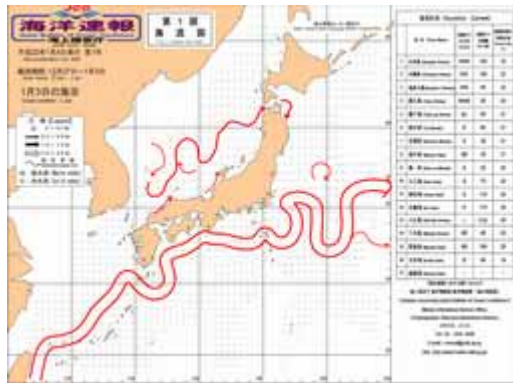


図 4.3-14 (2) 日本近海の流れの時間変動

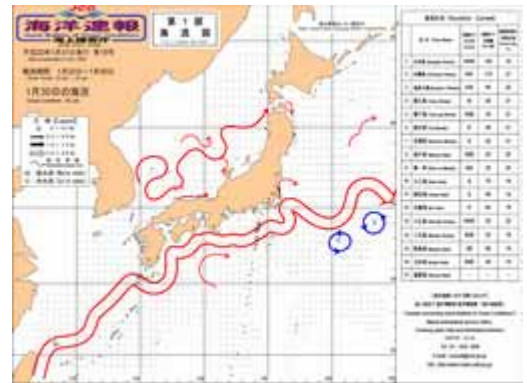


12月26日 ↓

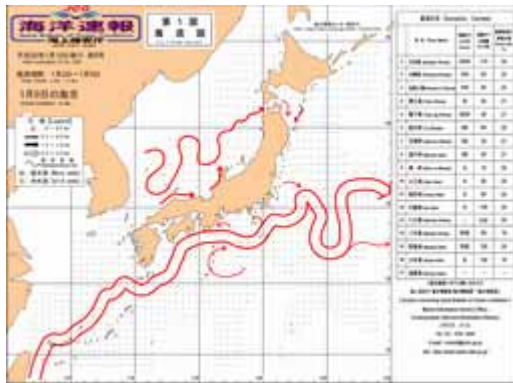
1月23日 ↓



1月3日 ↓



1月30日 ↓



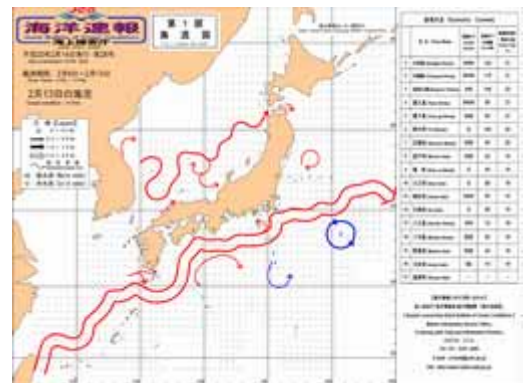
1月9日 ↓



2月6日 ↓



1月16日 ↓



2月13日 ↓

図 4.3-14(3) 日本近海の流れの時間変動

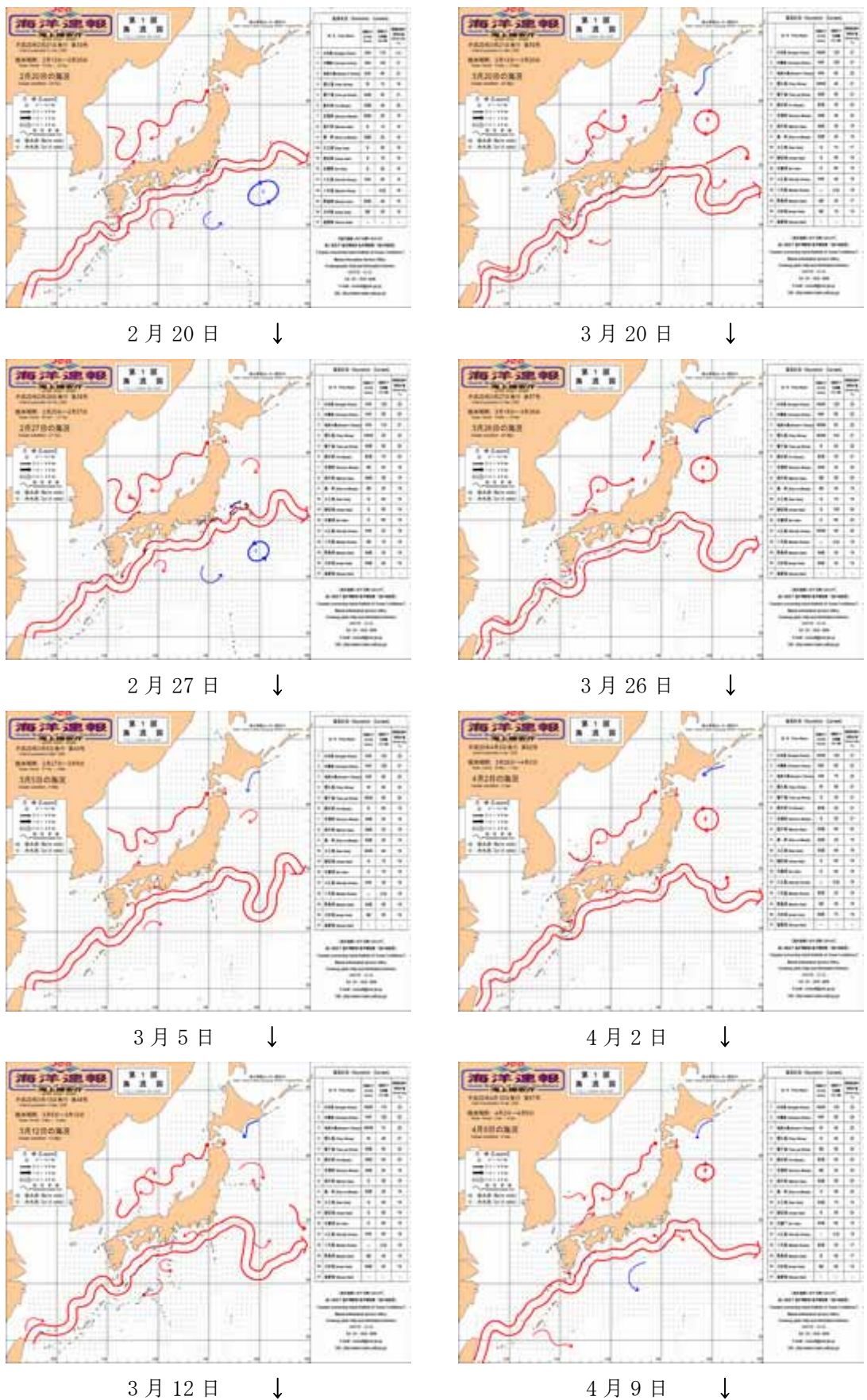
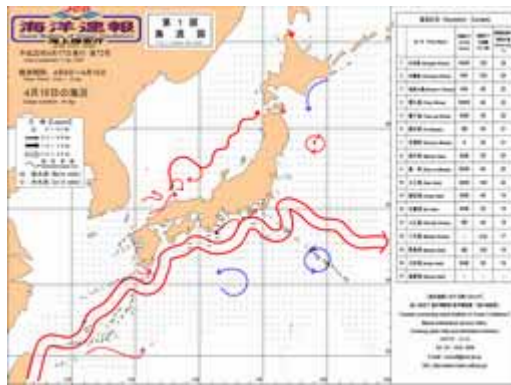


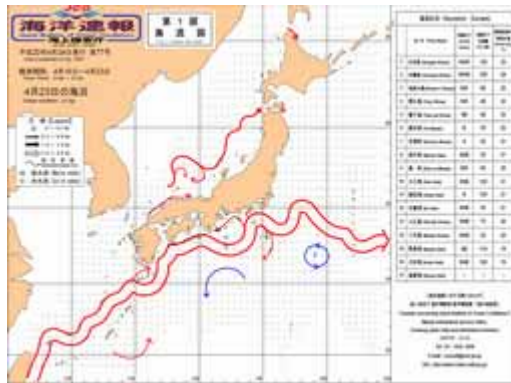
図 4.3-14(4) 日本近海の海流の時間変動



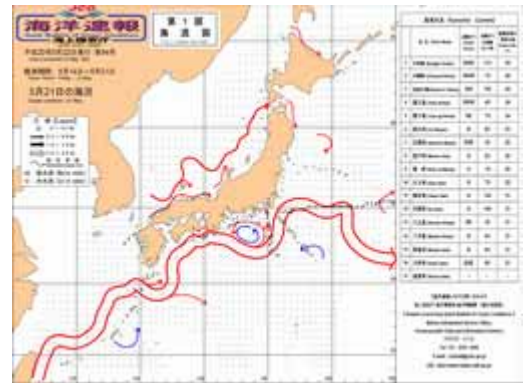
4月16日 ↓



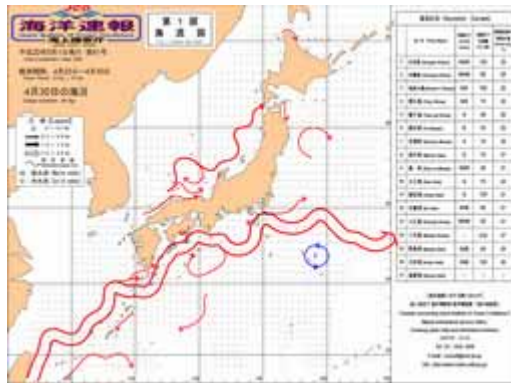
5月14日 ↓



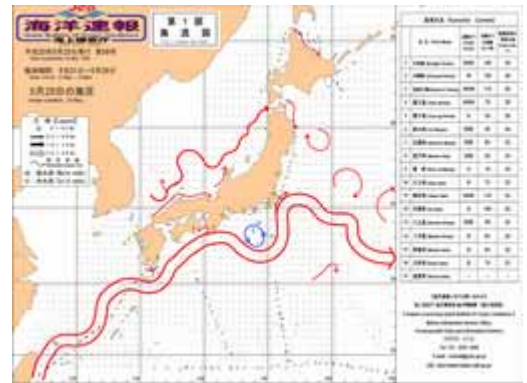
4月23日 ↓



5月21日 ↓



4月30日 ↓



5月28日 ↓

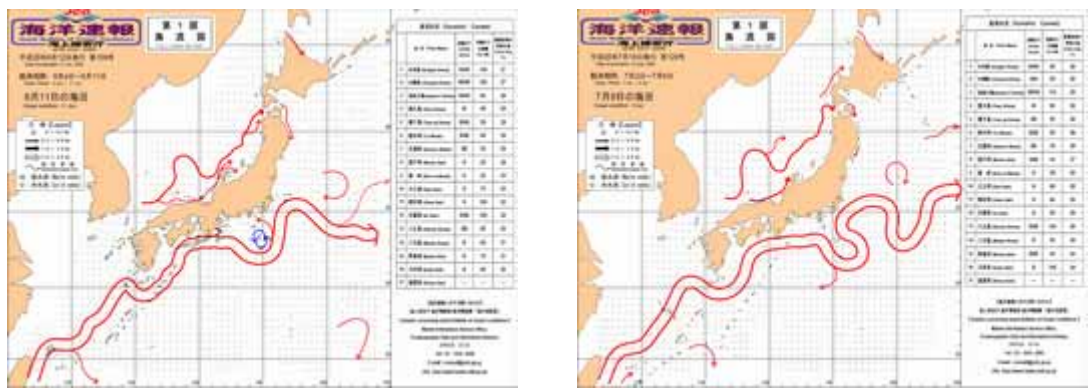


5月7日 ↓



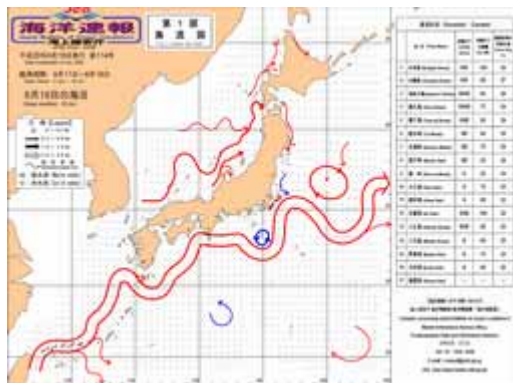
6月4日 ↓

図 4.3-14(5) 日本近海の流れの時間変動

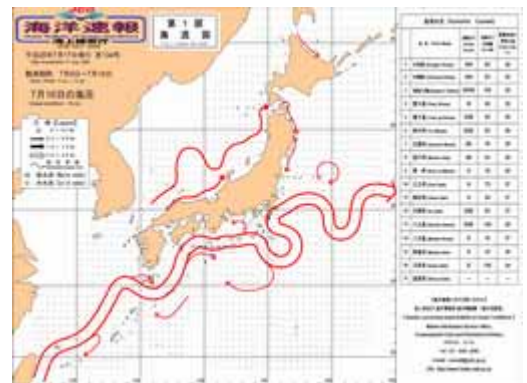


6月11日 ↓

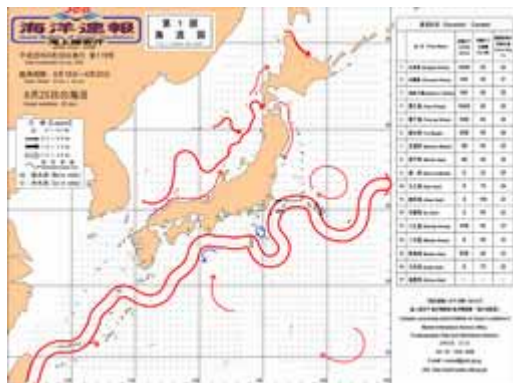
7月9日 ↓



6月18日 ↓



7月16日 ↓



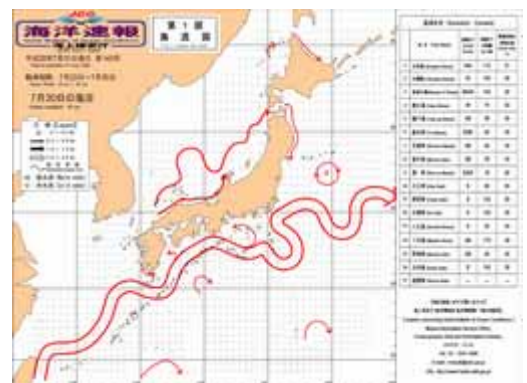
6月25日 ↓



7月23日 ↓

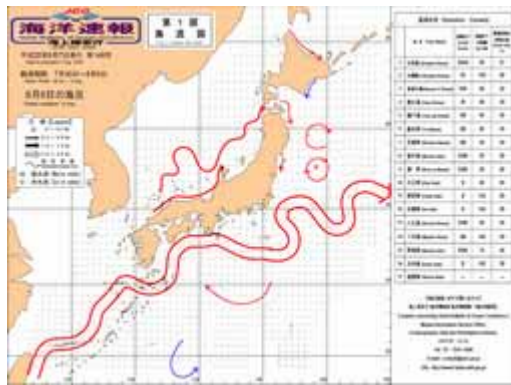


7月2日 ↓

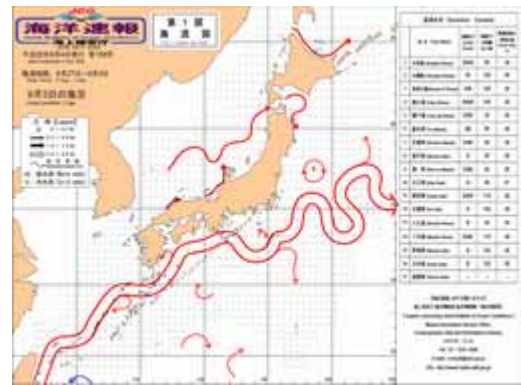


7月30日 ↓

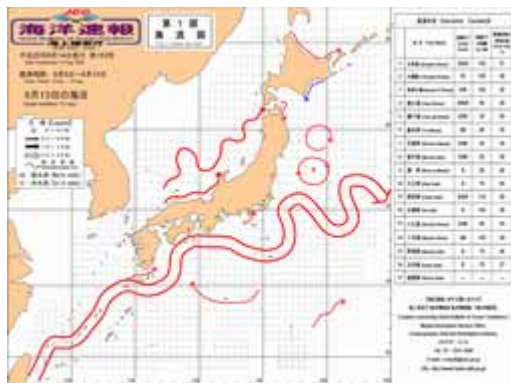
図 4.3-14(6) 日本近海の流れの時間変動



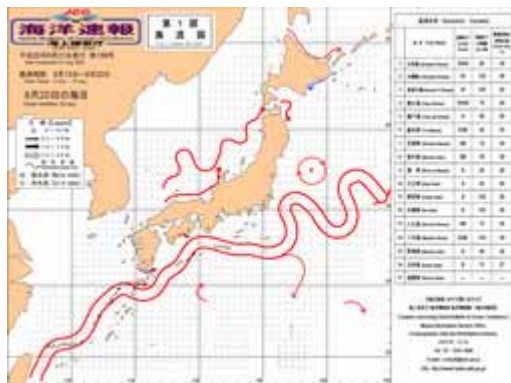
8月6日 ↓



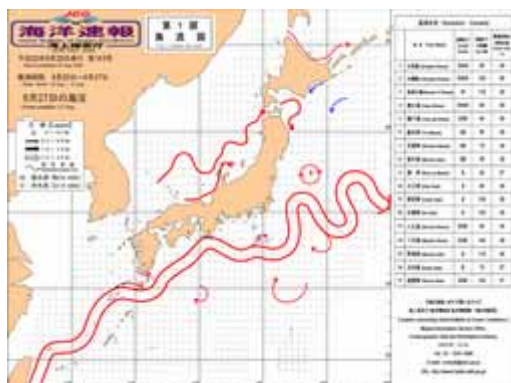
9月3日



8月13日 ↓



8月20日 ↓



8月27日 ↓

図 4.3-14(7) 日本近海の海流の時間変動

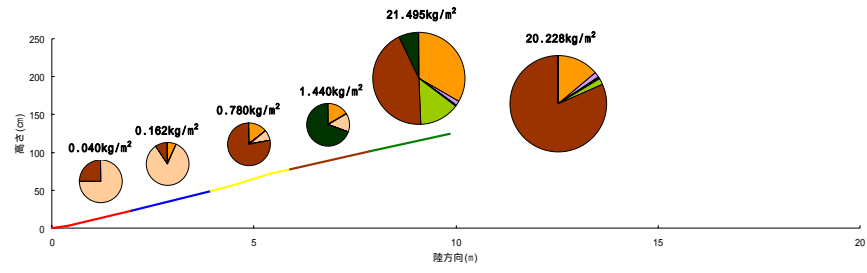
(2) 縦断方向の分布の解析

海岸の断面形状とゴミの分布の関係について、図 4.3-15 に示した。ゴミの重量（単位面積当たり）を示す円グラフの大きさは、各回における最大値を最も大きな円で表し、その 25%ごとに円を小さくして 4 段階の大きさで示した。そのため、同じ重量であっても調査回によって円の大きさは異なるが、断面での分布の差（円グラフの大きさの違い）が表現し易くなっている。

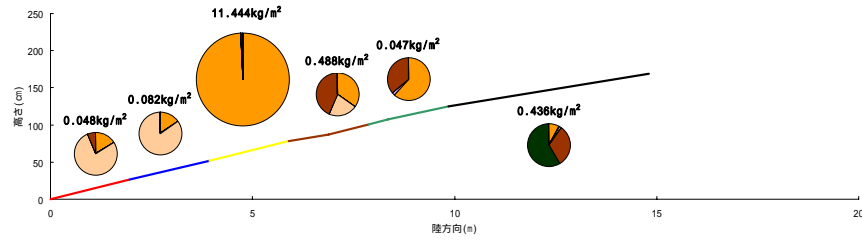
地点 1 のように、海岸の最も内陸側の断面勾配の緩やかな場所とゴミの量の多い場所が一致する傾向がある地点もあるが、地点 2 のように、毎回ゴミの多い場所が異なる地点もある。地点 1 の 4 回目、地点 2 の 2 回目、地点 5 の 2 回目、4 回目は、最も内陸側でゴミの量が多くなっているが、これらのゴミの種類はプラスチック類の割合が多くなっている。プラスチック類のように比重の小さいゴミは、漂着後に風によって内陸側へと集積された可能性がある。一方、海藻は(1)でも述べたように、汀線側で多くなる傾向がある。

海岸の縦断方向のゴミの分布は、海岸の勾配に加え、ゴミの種類や汀線の位置等によって決まっていることが示唆された。

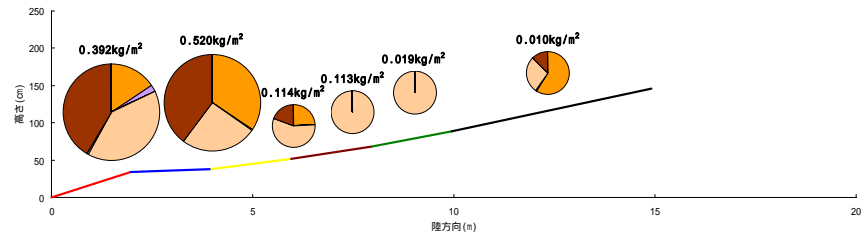
1回目（地点1）



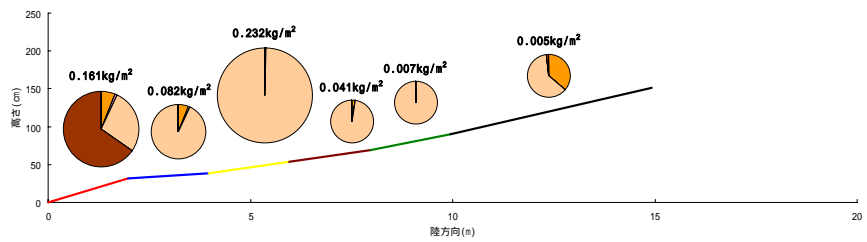
2回目（地点1）



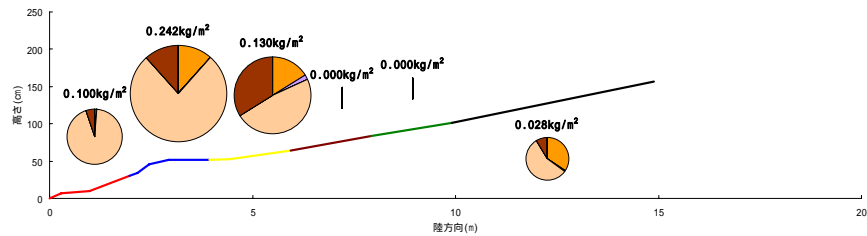
4回目（地点1）



5回目（地点1）



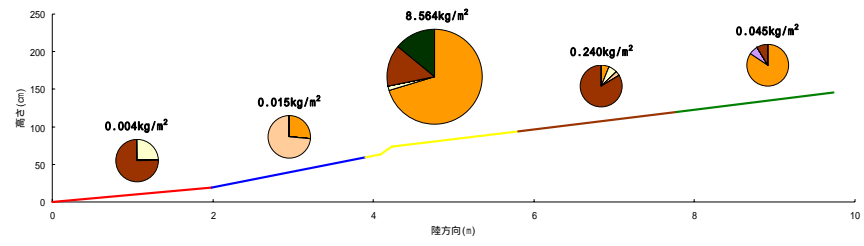
6回目（地点1）



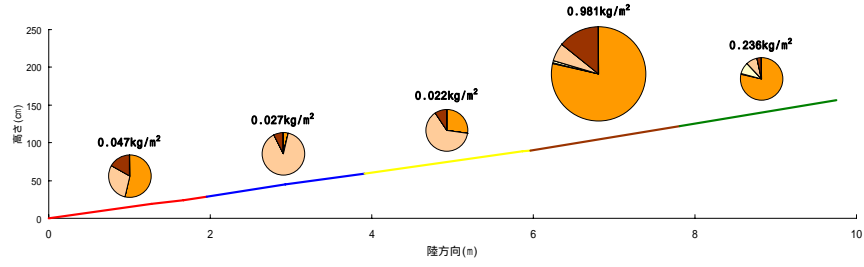
プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類
布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他（木材等）
自然系（灌木）	自然系（流木）	自然系（死骸）	

図 4.3-15(1) 海岸の断面形状とゴミの分布

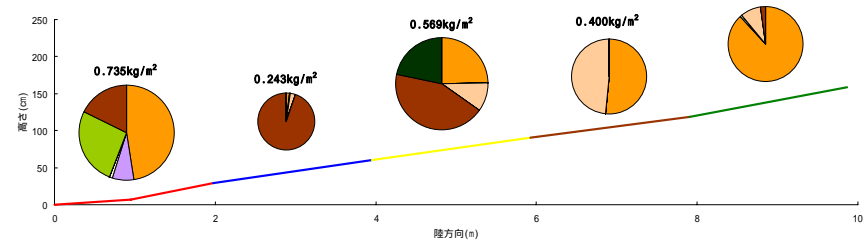
1回目 (地点2)



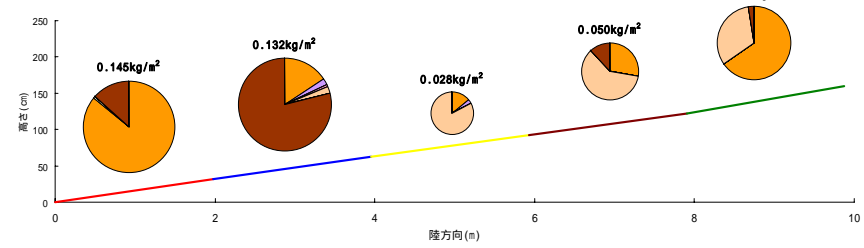
2回目 (地点2)



4回目 (地点2)



5回目 (地点2)



6回目 (地点2)

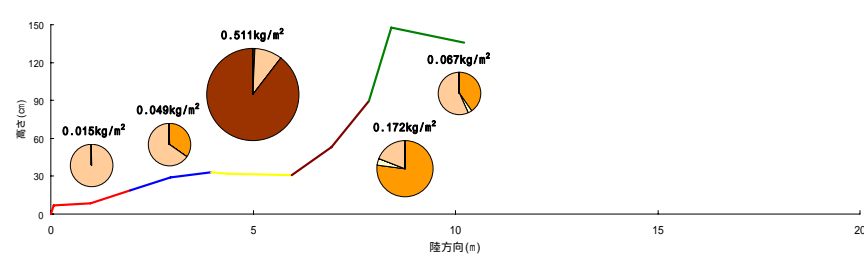
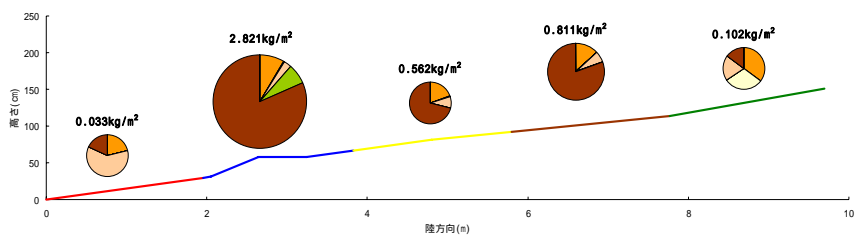
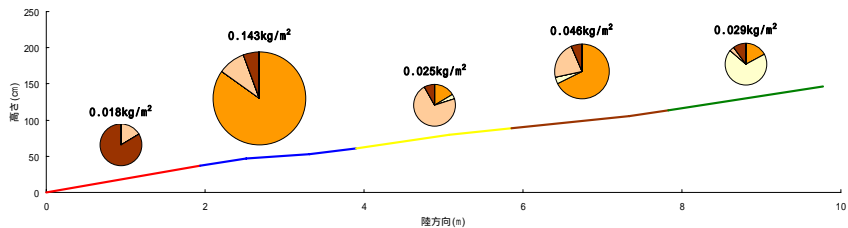


図 4.3-15(2) 海岸の断面形状とゴミの分布

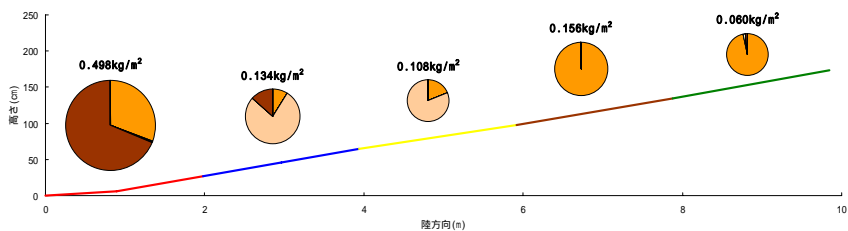
1回目 (地点3)



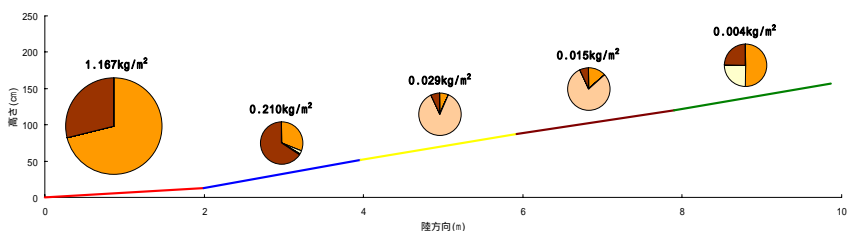
2回目 (地点3)



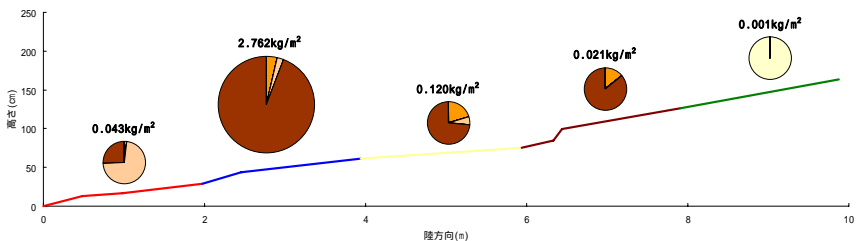
4回目 (地点3)



5回目 (地点3)



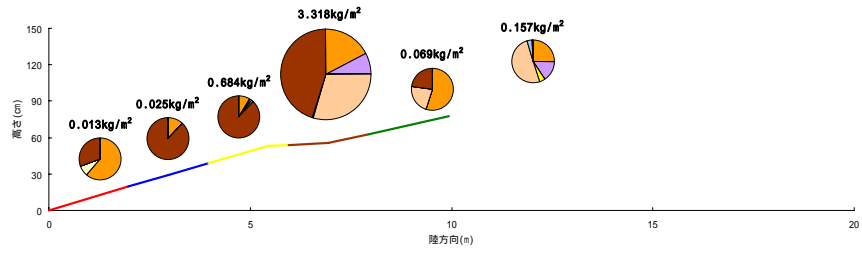
6回目 (地点3)



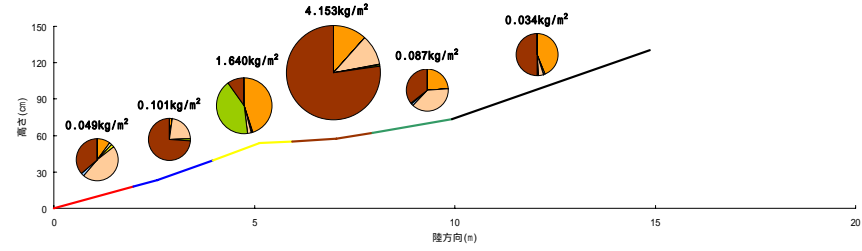
プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類
布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他(木材等)
自然系(灌木)	自然系(流木)	自然系(死骸)	

図 4.3-15(3) 海岸の断面形状とゴミの分布

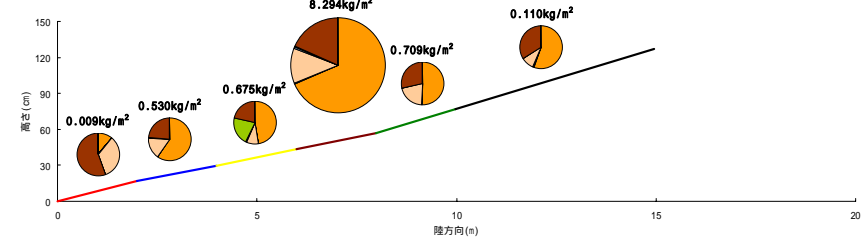
1回目 (地点4)



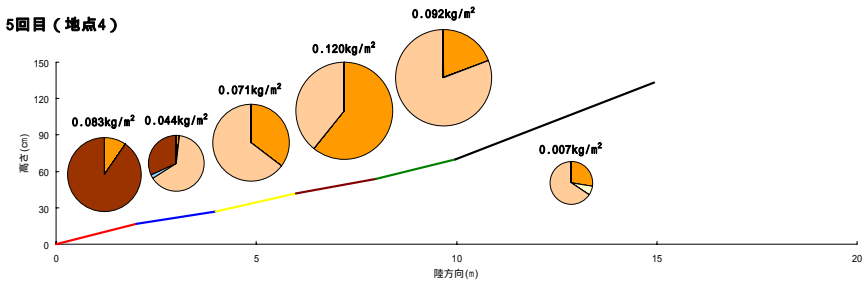
2回目 (地点4)



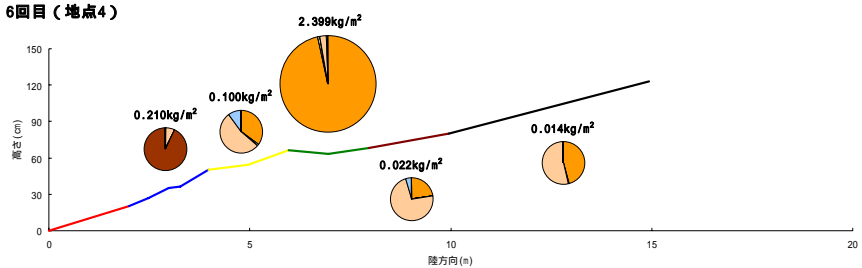
4回目 (地点4)



5回目 (地点4)



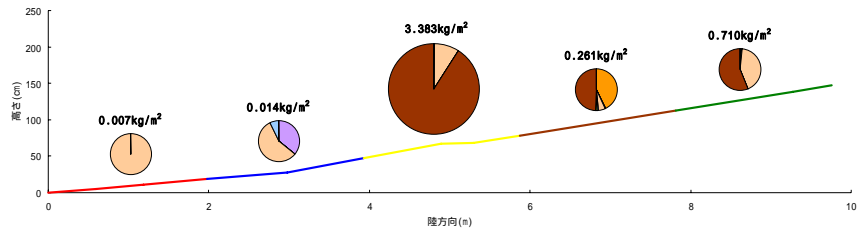
6回目 (地点4)



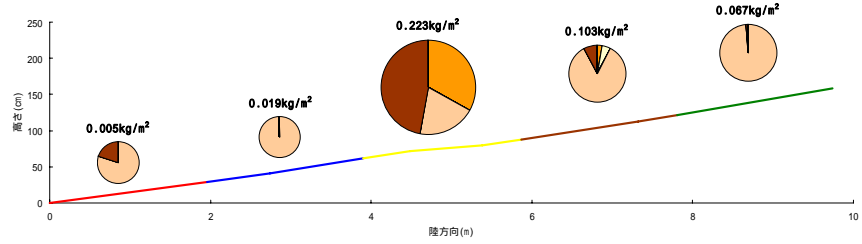
プラスチック類	ゴム類	発泡スチロール類	紙類
布類	ガラス・陶磁器類	金属類	その他(木材等)
自然系(灌木)	自然系(流木)	自然系(死骸)	

図 4.3-15(4) 海岸の断面形状とゴミの分布

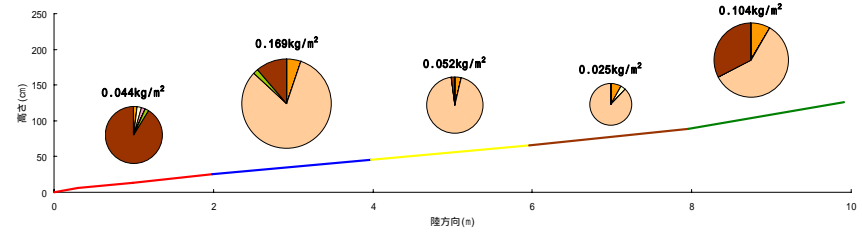
1回目 (地点5)



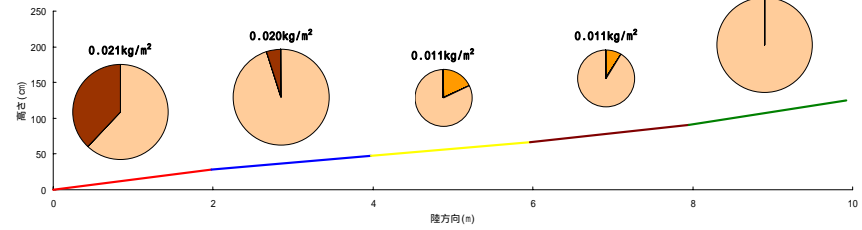
2回目 (地点5)



4回目 (地点5)



5回目 (地点5)



6回目 (地点5)

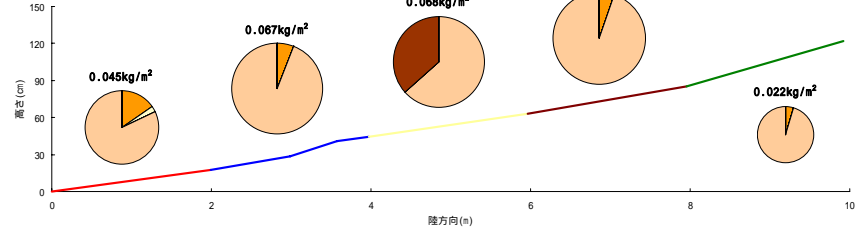


図 4.3-15(5) 海岸の断面形状とゴミの分布

5. その他の調査

5.1 定点観測調査

5.1.1 目的

計画されているクリーンアップ調査(2年で6回)及びフォローアップ調査(同6回)では、ゴミの漂着状態の経時的な変化が把握できない可能性がある。そこで、本調査では高頻度の定点撮影・観察を行い、漂着状況を経時的に把握することで、ゴミ漂着のメカニズム解明の一助とすることを目的とする。

5.1.2 調査内容

飛島西海岸が見下ろせる場所として、図 5.1-1 に示す渚の鐘 (St-1) と荒崎 (St-2) の2地点において、平成 19 年 8 月 20 日より毎週 1 回を原則として写真撮影を実施した。撮影は、平成 19 年 8～10 月は(株)みなと殿に、平成 19 年 11 月～平成 20 年 10 月は島民に依頼し、実施している。

- ・撮影者：株式会社みなと（平成 19 年 8 月 20 日～10 月 29 日）
島民（平成 19 年 11 月 6 日～平成 20 年 10 月 30 日）



注：冬季間の凍結などで安全を確保できない場合は除く。

図 5.1-1 飛島西海岸定点撮影地点

5.1.3 調査結果

渚の鐘 (St-1) から撮影した定点撮影画像を以下に示した。(平成 19 年 8 月 20 日)



荒崎 (St-2) から撮影した定点撮影画像を以下に示した。(平成 19 年 8 月 20 日)



平成 19 年 8 月 20 日～平成 20 年 9 月 25 日の写真を検討した結果、最もゴミの動きがよく分かる写真 (赤枠の写真) を代表とし、次頁以降に抜粋して示す。



8月20日



10月29日



9月12日



11月5日



9月20日



11月24日



10月2日



12月17日



1月12日



4月28日



1月28日



5月30日



3月2日



6月27日



4月1日



7月31日



8月14日



9月11日



9月25日

6. 検討会の実施